

1. 日本周産期・新生児医学会 認定外科医申請書 受理年月日 年 月 日(事務局記載)

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会
認定外科医委員会 委員長 殿

専門領域(該当する専門領域にチェックを入れてください)

小児外科 脳神経外科 心臓血管外科 泌尿器科 その他()

私は日本周産期・新生児医学会 認定外科医について、必要書類及び申請料を添えて申請いたします。

ふりがな			(西暦) 年 月 日生
申請者氏名 (認定証記載名)			
認定証に記載する名前に常用漢字以外(異体字や旧字, 環境依存文字)を使用する場合には, その文字のみ赤字にする. 学会ホームページ・会員ログイン後の「マイページ」の個人情報はシステムに不具合が出る場合があるため, 常用漢字のままとする.			
会員番号		メールアドレス	
本会の会員番号は数字7桁. メールアドレスは必ず使用できるものを記載する. 学会からのメールはサーバーや受信側の判断により迷惑メールに振り分けられる可能性があるため, 確認する. 申請後に変更した場合は, マイページの情報更新と, 事務局への報告を行う.			
外科系サブスペシャリティ専門医取得年月日 (西暦) 年 月 日	日本小児外科学会* 指導医認定期間 (西暦) 年 月 日～ 年 月 日		
専門医番号 :	指導医番号* :		
自宅住所	〒 -		
勤務先	名称	所属科名	
	住所	〒 -	
マイページを見て, 上記記載内容と相違がないことを必ず確認する. 認定証は, 会員情報に登録されている「送付先」へ発送する. 会員情報の登録の不備により送付できなかった場合, 本人からの問い合わせがない限り, 再送付は行わない.			
(西暦)	略 歴 (卒業大学から現在まで, 最大8項目 ※収まらない場合は最新のものを優先)		
年 月	大学 卒業		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

*: 日本小児外科学会指導医資格を取得している場合は, 日本小児外科学会の指導医認定証を提出してください.

2. 症例要約の総括(症例要約は全部で 15 例が必要)

*:日本小児外科学会指導医資格を取得している場合は、症例要約の提出は不要です。

症例の種類	申請する数	必要数
1. 新生児外科手術症例(日齢 30 までに手術を施行)	例	10 例以上
2. 新生児期は診断のみ行い、日齢 31 以降に手術を施行した症例(施行予定を含む)	例	5 例以下
3. 出生前診断症例	例	3 例※ ³

【記載上の注意】

- ① 勤務施設で新生児領域のみが本会の専門医制度の認定施設になっている場合
1. 新生児外科手術症例 10～15 例
 2. 新生児期は診断のみ行い、日齢 31 以降に手術を施行した症例(施行予定を含む) 0～5 例
 3. 出生前診断症例 記載免除
- ② 勤務施設で新生児領域も母体・胎児領域も専門医制度の認定施設になっている場合
1. 新生児外科手術症例 10～12 例
 2. 新生児期は診断のみ行い、日齢 31 以降に手術を施行した症例(施行予定を含む) 0～2 例
 3. 出生前診断症例 3 例
- 注:②の場合、3. 出生前診断症例を 3 例記載することが必須
- ③ 認定施設や施設番号(アルファベット 2 桁+数字 5 桁)は、下記 URL で確認する。
- 新生児:<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>
- 母体・胎児:<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 1		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】: 【診察所見】: 【診断の根拠となった検査所見】: 【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】: 【入院後経過と考察】:				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 2		施設番号			
西暦	年 月生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
【現病歴】:					
【診察所見】:					
【診断の根拠となった検査所見】:					
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:					
【入院後経過と考察】:					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 3		施設番号			
西暦	年 月生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
【現病歴】:					
【診察所見】:					
【診断の根拠となった検査所見】:					
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:					
【入院後経過と考察】:					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 4		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】:				
【診察所見】:				
【診断の根拠となった検査所見】:				
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:				
【入院後経過と考察】:				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 5		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】:				
【診察所見】:				
【診断の根拠となった検査所見】:				
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:				
【入院後経過と考察】:				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 6		施設番号			
西暦	年 月生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
<p>【現病歴】:</p> <p>【診察所見】:</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】:</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:</p> <p>【入院後経過と考察】:</p>					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 7		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】:				
【診察所見】:				
【診断の根拠となった検査所見】:				
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:				
【入院後経過と考察】:				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し, 全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 8		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
<p>【現病歴】:</p> <p>【診察所見】:</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】:</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:</p> <p>【入院後経過と考察】:</p>				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し, 全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 9		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】: 【診察所見】: 【診断の根拠となった検査所見】: 【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】: 【入院後経過と考察】:				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 10		施設番号			
西暦	年 月生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
<p>【現病歴】:</p> <p>【診察所見】:</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】:</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:</p> <p>【入院後経過と考察】:</p>					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 11		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】:				
【診察所見】:				
【診断の根拠となった検査所見】:				
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:				
【入院後経過と考察】:				

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 12		施設番号			
西暦	年 月 日生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
<p>【現病歴】:</p> <p>【診察所見】:</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】:</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:</p> <p>【入院後経過と考察】:</p>					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 13		施設番号		
西暦	年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴				
妊娠分娩経過				
【現病歴】:				
【診察所見】:				
【診断の根拠となった検査所見】:				
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:				
【入院後経過と考察】:				

*:入院中:主科を問わず外科の治療を継続している 転科:他科主科となり外科の治療は終了している.

注:母体・胎児領域が認定施設ではない場合,新生児症例 15 例でも申請可とする.出生前診断用を記載する場合は,症例番号 13~15 は不要.

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 14		施設番号			
西暦	年 月生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
<p>【現病歴】:</p> <p>【診察所見】:</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】:</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:</p> <p>【入院後経過と考察】:</p>					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 15		施設番号			
西暦	年 月生	男・女	在胎	週 日	出生体重 g
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無			
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手			
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他			
家族歴					
妊娠分娩経過					
<p>【現病歴】:</p> <p>【診察所見】:</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】:</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:</p> <p>【入院後経過と考察】:</p>					

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-2 (出生前診断用)

※所属している施設が、本会の専門医制度で母体・胎児領域の認定施設の場合は、症例要約-2 (出生前診断用) の症例を必ず3症例記載する。

症例番号 1		施設番号	
西暦 年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名： 出生前診断：有・無		
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な1件を記入	手術時日齢： 術式名： 手術時の役割： 術者 ・ 指導助手 ・ 第一助手 ・ 第二助手		
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他		
家族歴			
妊娠分娩経過			
【現病歴】：			
【診察所見】：			
【診断の根拠となった検査所見】：			
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】：			
【入院後経過と考察】：			

*:入院中:主科を問わず外科の治療を継続している 転科:他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を1ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-2 (出生前診断用)

※所属している施設が、本会の専門医制度で母体・胎児領域の認定施設の場合は、症例要約-2 (出生前診断用) の症例を必ず3症例記載する。

症例番号 2		施設番号	
西暦 年 月生	男・女	在胎 週 日	出生体重 g
診断名	診断名： 出生前診断：有・無		
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な1件を記入	手術時日齢： 術式名： 手術時の役割： 術者 ・ 指導助手 ・ 第一助手 ・ 第二助手		
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他		
家族歴			
妊娠分娩経過			
【現病歴】:			
【診察所見】:			
【診断の根拠となった検査所見】:			
【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:			
【入院後経過と考察】:			

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を1ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

3. 症例要約-2 (出生前診断用)

※所属している施設が、本会の専門医制度で母体・胎児領域の認定施設の場合は、症例要約-2 (出生前診断用) の症例を必ず3症例記載する。

症例番号 3		施設番号	
西暦	年 月 生	男・女	在胎 週 日
診断名		出生体重 g	
診断名		診断名: 出生前診断: 有・無	
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な1件を記入		手術時日齢: 術式名: 手術時の役割: 術者・指導助手・第一助手・第二助手	
転 帰*		生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他	
家族歴			
妊娠分娩経過			
【現病歴】: 【診察所見】: 【診断の根拠となった検査所見】: 【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】: 【入院後経過と考察】:			

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を1ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

4. 指導医推薦状 (新生児症例用)

私は、新生児領域の指導医として、_____ (認定外科医申請者名) の

症例要約が、新生児症例として適切であることを認めます。

指導医名(自署) _____

施設名 _____

西暦 年 月 日

新生児指導医は以下の URL で確認できる。

<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiS.aspx>

指導医推薦状 (出生前診断用)

私は、母体・胎児領域の指導医として、

_____ (認定外科医申請者名) の症例要約が、母体・胎児症例

として適切であることを認めます。

指導医名 (自署) _____

施設名 _____

西暦 年 月 日

注：新生児症例を 15 例提出する時 (勤務施設が母体・胎児領域の認定施設でない場合) は不要。

母体・胎児領域の指導医は以下の URL で確認できる。

<https://www.jsnm.com/Senmoni/ShidoiB.aspx>

5. 取得単位集計表

参加・発表の単位は、申請する年の3年前の7月1日から申請年の7月31日までの期間に限り記載できる。
発表及び論文は、新生児外科領域に関連するものに限る。

【必須単位】				
(1) 日本周産期・新生児医学会	10 単位	参加	回	単位
	5 単位	発表	回	単位
(2) 周産期学シンポジウム	10 単位	参加	回	単位
	5 単位	発表	回	単位
(3) 日本産科婦人科学会・日本小児科学会・日本小児外科学会	5 単位	参加	回	単位
	5 単位	発表	回	単位
(4) 学術論文(査読あり) (筆頭または corresponding author として発表)	10 単位		編	単位
(A)	(1)~(4)の合計 (<u>10 単位以上</u> が必要)			単位
【その他の単位】				
(5) 学術論文(査読あり) (共著者として発表)	5 単位		編	単位
(6) 日本新生児成育医学会・日本麻酔科学会・日本母体胎児学会	5 単位	参加	回	単位
	5 単位	発表	回	単位
(B)	(5)~(7)の合計			単位
(A) + (B)	総合計 (<u>20 単位以上</u> が必要)			単位

【記載上の注意】

- ・学会での発表は、新生児外科領域の筆頭演者に限る。抄録のコピーを1部添付すること。
- ・学術論文は、本学会の認める査読制度のある学術雑誌で、かつ査読を受けた論文に限る。別刷(コピー可)を1部添付すること。
- ・投稿中の論文は受理票及び論文のコピーを添付してください。

6. 学術集会参加記録簿

要領 p7 の記載方法を必ず参照すること.

参加日(西暦)	学術集会参加証貼付	必須 単位	その他の 単位
	小 計	単位	単位
	合 計		単位

【記載上の注意】

- ・学術集会参加記録簿が足りない場合は,必要な枚数をコピーして使用可.
- ・名前の記載がある参加証はコピー可. 参加証がない場合は, ネームプレートのコピーでも可.
- ・参加証明書の使用方法は要領 p7 を参照.
- ・学術集会発表の場合は, 抄録のコピーが必要.

7. 学術論文刊行記録簿

論文単位は必須ではない。学会参加や発表で単位が充足する場合は論文の提出は不要。

著者名, 論題, 誌名, 発行年, 頁の順に記入	単位	査読*
合 計		単位

【記載上の注意】

- ・新生児外科領域に関連した論文に限る。
- ・学術論文は別刷(コピー可)を1部添付する。
- ・3. 取得単位集計表の以下について査読を受けていることを必ずご自身で確認し、査読欄に○印をつける。
 - (4)学術論文(査読あり)(筆頭または corresponding author として発表)
 - (5)学術論文(査読あり)(共著者として発表)
- ・学術論文の単位は全て認定外科医委員会での審査を要するため、申請時点や申請前に単位として有効か否かは回答できない。